

働く男のライフスタイル情報紙

Biz Life Style [ビズスタ]

2019 09

特別版

『BizLifeStyle』は東京、名古屋、関西、京都、仙台、福岡、広島にて55.4万部発行
下記URLまでアクセスを。

www.biz-s.jp

広告掲載に関するお問い合わせ・申し込みは
TEL.03-6854-7001 FAX.03-6854-7005

企画・制作 / 株式会社デリースポーツ案内広告社
〒110-0015 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 14F
© 2019 DAILY ADVERTISING AGENCY CO.,LTD



イタリアが誇る名門、王者『アルファ ロメオ』。その人気の背景。

1920年にアルファロメオのテストドライバーに就任した彼は、レースドライバーに昇格後、いくつものレースで目覚ましい走りを見せ、晴れてワークスチーム入りを果たす。自らコックピットに収まりつつ、市販車の販売代理店も成功へ。仲間とセミワークスチームを立ち上げたり、ドライバー引退後はワークスチームのマネージャーを引き受けたり。1933年に独立の時を迎えるまで、彼はアルファロメオでさまざまな経験を磨く...

さて、「ここで言う『彼』とは、誰を指すのか。モータースポーツファンなら記憶を手繰るまでもない、初級レベルの設問。もちろん、エンツォ・フェラーリその人だ。

1910年、イタリアはミランで創業したアルファロメオは、その後100年以上にわたりイタリア車のシンボリックな役割を果たしてきた自動車メーカーだ。モータースポーツの舞台では、その黎明期から名声を欲しいままにする走りの名門として君臨。美しさと速さへのこだわりは市販車にも引き継がれ、アメリカの自動車王ヘンリーフォードをして「アルファロメオが通るたびに脱帽する」と言わしめたというほどの大成功を収める。

冒頭に紹介した「彼」こ

とエンツォ・フェラーリは、後に自ら率いるレーシングチームで古巣と激戦を繰り広げる。1951年のイギリスGPでは、前年から始まったF1世界選手権で初めて「本家」を打ち破り、ポデウム頂点へ。「私は母を殺してしまっただ」という名セリフは余りにも有名だが、あの「跳ね馬」が分家と考えられていたのだから、当時のアルファロメオがどんな地位にいたのかありとが分かる。

人々がアルファロメオに抱くイメージは、昔も今もほとんど変わらない。製品が発散する魅力は前述の「美」と「速さ」、即ち「自動車の愉しみ」そのものだ。感性に訴え、感情を揺さぶり、感覚を研ぎ澄ましてくれるような走行性、それをそのまま表現するデザイン性。これを人生の豊かさとして味わい尽くすことが、アルファロメオを選び、乗る意味と言える。

そこで今回は、世界に名だたるイタリアの自動車文化を担ってきた名門アルファロメオを特集してみたい。サーキットの中心にいた同社が、日本の公道でどんな振る舞いを見せるのか。まずは、いま世界中の車好きをワクワクさせるセタン&SUVを次ページから紹介しよう。



「アルファ ロメオ浦和」ショールームなら、現行全車種の試乗が可能!詳しくは次のページから!

My Favorite Life Style

STELVIO SUVの常識を覆すパフォーマンス

ワインディングでの操舵感、高速道路での安定感については、さすがアルファ・ロメオ。SUVでも申し分ないクオリティの走りを楽しめるが、実は市街地での軽快なパフォーマンス、中でもハンドリングのしやすさは特筆モノの素晴らしさだ。このあたりは試乗すればすぐに体感できるはずなので、ぜひ店頭でお試しください。



アルファ・ロメオ ステルヴィオ 2.2 TURBO DIESEL Q4 6,350,000円(車両本体価格10月1日現在)

GIULIA 感情に訴えかけるスポーツセダン

50:50の重量バランスとボディの剛性感、オルガン式アクセルペダル。かつての大ヒット作の革新性を思わせるジュリアは、アルファ・ロメオの車づくりの現在値を如実に示す充実度を誇る。本文で触れた「ジュリア スーパー」のほか、チューンナップモデルの「ヴェローチェ」と、別次元の走りの魔物「クアドリフォリオ」がラインナップされている。



アルファ・ロメオ ジュリア 2.0 TURBO VELOCE(右ハンドル/後輪駆動) 5,890,000円(車両本体価格10月1日現在)

血統のスポーツセダンで、新機軸のSUVで。新たな時代へと突入した「王者」アルファ・ロメオの「今」。

アルファ・ロメオと言えば、まずはこのモデル。あの「ジュリア」が、FRで！

世界的大ヒットとなった「106」や「147」の遺伝子を体感できるアルファ・ロメオ「ジュリア」。同社の50年のシンボルである「美とパフォーマンス」が高次元で融合したフラッグシップセダンだが、モータースポーツを愛する世界中のレーサーを魅了してきたDNAは、隠そうにも隠しようがない。ひと目見た瞬間の喜びと、走り出した時の高揚感を掻き立てられるスポーツサルーン。試乗の際、まず正面に立つて車を眺めれば、この車に公道に出るのがソックと来るはずだ。

そんなわけで、令和元年現在のアルファ・ロメオの実像について、まずはこの人気車種から読み取ってみることにしよう。

車格的にはいわゆるロゼクマンに属するジュリア。プレミウム系の欧州車の名門同士が競を削り合う激戦区だが、その中に置いても頭ひとつ抜けて出ようがない存在感。現行モデルは、日本では昨年の秋に発表された。新たに設計されたFRアーキテクチャが採用されているのだが、アルファ・ロメオがカタログにFR車をラインナップするのは、実に四半世紀ぶりだ。また、「105」の「105」を進化を繰り返してきた正統派スポーツセダンの直系という期待感も高まり、イタリア車愛好家たちが沸いたのは記憶にも新しい。

ジュリア譲りの美と走りを、新たなステージへ。あの「走りの王者」が何とSUVの世界に進出！

運転しているときにハンドルから伝わる、シフトから伝わる、その情報量の多さをもうに感じることが出来る。まるで車と一体しているかのように、テンションが自然と上がる爽快感はスポーツタイプの車種の特長だが、これをアルファ・ロメオはSUVでも体感できる。

これまで繰り返してきた通り、アルファ・ロメオの魅力の焦点は、デザインと走行性能にある。そのイメージゆえに、自動車ファンたちは反発的に「クーレ」を、そんなければ「ジュリア」のようなスポーツセダンを連想するわけだ。その走りへのこだわりは、プラットフォームとしての存在意義にまで昇華している。だが、2016年に同社がリリースしたSUVには、誰もが驚いた。世界的にブームのカテゴリーは、言え最初の報に触れた時は、やはり心配が先に立ったものだ。「走りの伝説を捨てる気なのか？」

そんな杞憂は、ドイツ西部のニルブルクリンクサーキット北コースで、あけなく露を消えた。各社がテストデータを競う中で、量産SUVのコースロードキを刷新、雷録の世界最速ラップは、レース創成期から自動車史を彩ってきた走りの技術とモチベーションが健在であることを満天に示したのだ。

満を持して投入されたアルファ・ロメオ「ステルヴィオ」は、そんな記録とエピソードに彩られながらデビューを果たした。昨年の発表以来、ある意味ではジュリア以上の話題性を携えてこたくなったアルファ・ロメオの新機軸。続いては、こちらの車種を、駆け足でザックリと眺めることにしよう。

ステルヴィオは、ジュリアをベースに開発された同社初のS

わえるのは、アルファ・ロメオの真骨頂。なお、その美観は空力的な改良を兼ねている点までしっかりと味わいたい。

ノーズが長めに取られた方、バッテリーがスバツと落ちたかのようなリア。セタとして、の品格を重視しながらドライバーの思想がはつきりと見えるデザインは、乗り込む前にサイドビューを鑑賞するのがおすすめだ。今回は、エントリーモデルにあたるFR/右ハンドルの「ジュリア スーパー」をチェックしてみよう。ドアを開けると同時に目に飛び込んでくるインテリダが、これまた美しい。シムブルにまつめられたボクン類、米光の歴史を象徴する伝統的なアノクグメーター。直感的に訴えくるデザインと、革やアブリックにワットを組み合わせた洗練の素材観にひとときり惚らた。エンジンに火を入れよう。

エンジンは、2.0L直列4気筒ターボを搭載。最高出力200PS、最大トルクは300NMにも達するので、踏み込むと背筋を貫くトライブリックカー特有の「あの感覚は十分に味わえるはずだ。輪郭が明瞭な立ち上がり、独特の加速感もさることながら、軽くクイックで鋭く切れ込むステアリングには驚かされる。たとえば交差点に進入する際、隅切りと自車の位置感覚が体感的に伝わってくる情報量の多さ。これはアルファ・ロメオが独自の特徴でもある。

したがって、セタながら実に小回りが効く。これなら妻もすぐに慣れるだろうという印象。スッキリとした印象的な仕上げられているインテリアも、男性女性ともに好まれるだろう。

UVで、FRレイアウトを採用する次世代アルファ・ロメオ車の第2弾と考えればよいだろう。各メディアのレビューを覗いてみると、SUVながら「スポーツセダン」とも言える操作性という評価も目立つようだ。その特殊性は、デザインからも見取れる。

実車を前にすると、車体上部がクーレのよう流麗なラインを描いている。走りへの期待が高まる方、サイドビューはジュリアの彫刻的な陰影が踏襲されている。せり上がり、落ち込み、広がる...というボリューム感は、「そう見える」だけではない。シートに座ると、サイドビューに目をやると、リアへと向かいふくむかな丸みが立体的に視認できるのだ。エンジン始動前の安全確認の時点でも、刺激される運転へのワクワク感。一般のSUVではなかなか得られない臨場感、外からは分からない魅力なので、ぜひ実際に乗り込んで欲しい。

さてアクセルを踏む前に、探り出す。ジュリアで感じた「フィーリングの確かさ」や「ハンドルの軽やかさ」は、ほぼそのまま踏襲されているという印象だ。言葉にするとは簡単に見えてしまうが、SUVのステルヴィオがスポーツサルーン並みの「輪しみを提供してくれるのは、ちょっとしたトピックと言える。

優美な表現で恐縮だが、アルファ・ロメオはもとも「五感で味わう」ブランドだ。次ページでは試乗場所を紹介するのでぜひ体感してほしい。



アルファ・ロメオ ステルヴィオ 2.0TURBO Q4 "Monochrome Edition" 全国限定15台



2.0 TURBO VELOCE 5ホールアルミホイール+19インチランフラットタイヤ



アルファ・ロメオ ジュリア 2.2 TURBO DIESEL SUPER 5,670,000円(車両本体価格10月1日現在)

My Favorite Life Style



ジュリア、ステルヴィオをはじめ全現行車種をその場で試乗可能。
アルファ ロメオ ファンの集う場所、『アルファ ロメオ浦和』。

アルファ ロメオの現行4車種すべてにその場で試乗できる「アルファ ロメオ浦和」。四半世紀以上の歴史を有しており、地域密着でオーナーたちを支援してきた販売店だ。スタッフも筋金入りで、約20年にわたり腰を据えている「専門家」も在籍。アルファ ロメオライフを強力に支えてくれる拠点として、愛着家たちの間でも名高い。

繰り返しになるが、アルファ ロメオの魅力は、残念ながら文章では半分も伝わらない。車体を撫で、ステアリングを握り、アクセルを踏まなければ分からない車なのだ。インテリアの美観、鼓膜から首筋へと流れる回転数や加速感、腰や背中に心地よく響く路面の状況。まさに「五感で味わう車」だからこそ、百年ブランドとして今も世界中の自動車ファンを魅了し続けているのだ。

車体の製造技術が安定的に発展した分、個性が薄まり続けているような気もする自動車業界。そんな中で、「車が好きでたまらない人々の情熱」を包み隠さず表現し続ける市販車のメーカーは、さほど多くはない。その点、アルファ ロメオは、日常の街乗りでも「運転する愉しみ」を濃密に共有してくる。だからこそ、まずは触れてみるのが重要となる。

もしも車がお好きなら、ぜひアルファ ロメオ浦和に試乗の申し込みを。そこには、何とも愉しい非日常体験が待っているはずだ。

ビズスタ特典



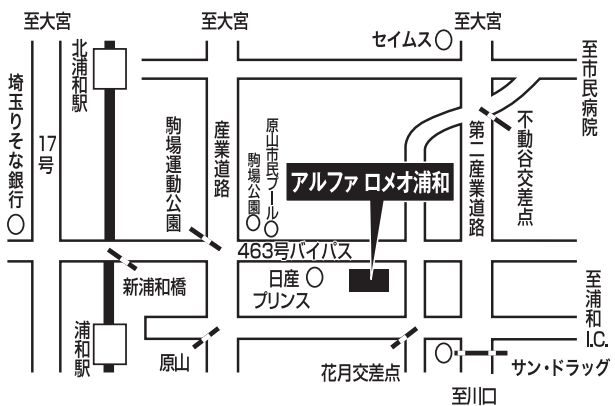
ご予約の上、ご試乗いただいた方に
アルファ ロメオのエンブレムをあしらった
オリジナルディッシュをプレゼント!

応募期間: 2019年10月31日まで

※予約時、または店頭で、スタッフに「ビズスタを見た」とお伝えください。
※先着順受付、なくなり次第終了となりますので、品切れの際はご容赦ください。



左にミラノ市の白地に赤い十字架、右にヴィスコンティ家の紋章。何度かアップデートされているが、アルファ ロメオと言えば、車体の前後にもあしらわれているこのエンブレム。



■お問い合わせ先

アルファ ロメオ浦和

TEL.048-881-4400
埼玉県さいたま市緑区原山3-13-14
営業時間/10:00~19:00
月曜休(祝日の場合は営業、翌火曜を休業)

アルファ ロメオ浦和

検索

<https://urawa.alfaromeo-dealer.jp/alfaromeo>